

くらしき作陽大学鶴声会 会報

鶴の声

vol.12
2022.8

TOPICS

4年ぶりに総会を開催いたします!
✿11月5日(土) 於:津山鶴山ホテル✿



会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

会長 木村 一也

(昭和58年 音楽学部音楽学科卒業)

鶴声会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察します。日頃より同窓会鶴声会の活動に際

しまして、ご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、会長に就任し1年半が経ちましたが、新型コロナウイルス感染症による影響で、本来の会長職の活動ができておりません。いまだ各支部へのご挨拶もできておりませんし、大学の卒業式に向き、卒業される皆様へ、鶴声会としてお祝いの言葉を伝えたり、同窓会の活動に積極的に関わっていただくようお願いをしたりすることもできず、申し訳なく感じております。これから同窓会の役目をどう果たしていくかを考えていこうと思っております。いまだ終息のめどがつかないコロナ禍という状況ではございますが、世の中は少しずつさまざまな活動が再開されている現状もあります。いろいろな制限がある中での取り組みや活動は、今までとは異なり、視点や考え方を換え、活動を展開しているものもたくさんあるように思います。「WITHコロナ」の視点に立ち、鶴声会の活動も新たな展開をしていってもよいのではないかと感じております。

今年度においては鶴声会総会の年であり、幹事会では11月5日(土)に「くらしき作陽大学の原点」でもあり、また、くらしき作陽大学の礎となった地でもある、津山市において開催を計画することにいたしました。音楽学部卒業生の方のみならず、食文化学部・子ども教育学部を卒業された皆様にも、ぜひ本学の原点である津山市にあるキャンパスや建学の精神の源となった地で、いろいろな思いを感じていただきたいと思っております。ぜひ同窓生の方々で声をかけあっていただき、たくさんの方にご参加をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。(余談ではございますが、今回が津山キャンパスを見られる最後のチャンスとなるようです。)

また、同窓会の活動として、コロナ禍や世界情勢の変化による物価高騰等において、学生の生活もいろいろと変化をし、苦勞をしている学生もいるのではないかと思います。同窓会として在学中の学生に対し、何らかの援助ができないかと思っており、現在(6月)幹事会の中でプロジェクトチームを作り、具体的な援助をどうするかを検討しているところでございます。

いまだ新型コロナウイルスの終息が見えない中ではございますが、各支部での取り組みや活動に際しましては、感染症対策をしっかりと行い、各支部がそれぞれの強みを生かした個性ある活動を展開していただきたいと思います。また、このような状況の中「こんな活動ができた」「こんな活動を考えている」等、情報交換を行いながら鶴声会の横の繋がりを大切に活動が展開されることを願っています。

最後に、会員の皆様のご今後ますますのご活躍とご健勝を祈念するとともに、鶴声会への変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますことをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

学長あいさつ



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

同窓会会員の皆さん、お元気ですか。

大学・短大ともに皆さんの後輩達は元

気で頑張っています。音楽学部は、今春入学生が定員を充足するという明るいニュースをお伝えします。これも同窓生の応援があったからと喜んでます。食文化学部は、今年3月に行われた管理栄養士国家試験の合格率は100パーセントでした。100パーセント合格の大学は、全国で19校ありましたが、そのうち50名以上の合格者は本学を含め3校のみでした。子ども教育学部は、小学校、特別支援学校、幼稚園、保育園の公立学校採用試験に合格したものは35名です。このように後輩たちも先輩の良き伝統を守り頑張っています。

世界は今、大きく変わらねばならない時代になっていると思われま。ロシアのウクライナ侵攻で多くのウクライナ国民の生命が奪われ、兵士が亡くなりました。これに長い年月をかけ汗水を流して築いてきたであろう住宅、学校、劇場など砲弾を浴び、一瞬で廃墟と化してしま

いました。

釈尊は人間が生まれることは難中の難といわれ、現代の最先端をいく生命学者は人間が生まれることを1億円の宝くじが何回も連続して当たるに等しいほど有り難いことといっています。それほどかけがえのない生命がいつも簡単に消されていく。これほど愚かな行為があるでしょうか。

現代文明は損か得かを重視し、偽か真かがわからない、智慧のない愚かな文明といえると思います。人の生命よりもお金優先の文明であり、それを支えているのが科学技術であり、経済優先の考えです。このままでは、地球文明は持続可能ではなく滅亡へ進んでいくことを地球人類は目覚めねばなりません。釈尊はじめ聖賢が言われているように、皆さんが学生時代に宗教の時間に学ばれたように、人間は地球・自然(宇宙)の一員であり、生きとし生けるものは、人間だけでなく、あらゆる動物も、植物もつながっており、互いに助けあって生きている。私達は宇宙に、天地自然に、生かされている存在であるという真実に目を開く智慧をもたねばなりません。そのような世界を、人間社会(文明)を築いていくことを考えねばなりません。それができるのは作陽の卒業生の皆さんです。

そのような意味でも、生命の尊さを実感し、生かされていることに感謝した生活を広めてほしいと思います。



総会のご案内

平素から、同窓会鶴声会活動の支援にご協力いただきありがとうございます。

長引くコロナ禍に、行動が制限され、会いたい人に会うこともできず、行きたい場所に行くこともできない、現代社会には考えられない状況が起きて、もう3年以上がたちました。前回(令和2年度)は、残念ながら会員の皆様の安全を第一に考えた結果、総会では中止といたしました。今年(令和4年度)の開催について、幹事会で協議を重ねた結果、4年ぶりの鶴声会総会を開催する方向で調整しています。

今回の目玉として、希望される方を対象に、津山校の見学ツアーを計画しています。併設高校の作陽高校が令和5年4月1日に倉敷市玉島に移転しますので、津山校の敷地に入れる最後のチャンスかもしれません。また、各学部の退職された先生に懇親会へご参加いただくことも計画しています。

会として、万全なコロナ対策を実施いたしますので、先輩、同級生、後輩とお誘い合わせのうえ、学生時代にタイムスリップしてみませんか？

一人でも多くのご参加を心よりお待ちしております。

期 日: 令和4年11月5日(土曜日)

会 場: 津山鶴山ホテル
〒708-0832
岡山県津山市東新町114-4
TEL 0868-25-2121



時 間: 10時30分～ 津山(旧大学)キャンパスツアー(希望者)
12時00分～ 受付
12時30分～ 総会
13時30分～ 懇親会

会 費: 2,000円(懇親会参加者)

申込方法: 右記の二次元コードもしくは返信用はがきよりお申し込みください。
二次元コードはお手持ちの携帯電話もしくはスマートフォンでお申し込み可能です。



申込締切: 令和4年10月14日(金)

[JR利用の場合]

岡山駅から津山駅まで快速で約1時間10分

- 津山駅から/タクシー10分
- 東津山駅から/タクシー5分

[自動車利用の場合]

中国自動車道 津山インターから10分



【新型コロナウイルス感染症対策について】

1. 開催について

政府および自治体からの特別な指示がない限りは、予定通り開催いたします。

ただし、指示がなくとも以下のような状況になった場合は中止いたします。

- 開催会場(津山鶴山ホテル)が、自主的に閉館をした場合
- 公共交通機関の利用を著しく制限された場合
- その他の状況で通常の開催ができないと判断した場合

中止となったときは、鶴声会ホームページにてお知らせいたします。

振替や延期はいたしませんので、会則に従い常任幹事会の決定をもって総会の決定に代えさせていただきます。予めご了承ください。その際は、書面にて会員の皆様にご報告させていただきます。

2. 総会当日にご配慮いただきたいこととお願い

会場にはアルコール消毒液が常設されていますが、以下のように皆様の自主的な予防対策をお願いいたします。

- マスクの着用
- 手洗いの励行(ご来場前後など)
- 体調不良状態でのご参加の自粛



各支部からの活動報告

関西支部

関西支部総会の予定

関西支部長 石野 靖弘

鶴声会の2022年度の総会が、秋に津山で開催される予定です。この鶴声会総会に併せて、関西支部総会を計画しています。関西支部の皆様も是非、この機会に津山での総会にご参加いただきたいと思います。

広島県支部

津山総会参加の呼びかけ

広島県支部長 下田 巧

2019年度県支部総会を最後に、ピアノレクチャーコンサートなど各種イベントの開催を中止または延期している状況です。昨年度もコンサートの計画までしたものの、感染状況を考慮して中止ということにしました。総会についても開催することができず、幹事会で検討した内容を文書でお知らせした次第です。今年度幹事メンバーと再度検討を行い、次年度計画など皆様にお伝えできればと思っています。

また、今年度は同窓会総会も津山で開催されますので、ぜひ、思い出の地津山と一緒に訪問してみたいはいかがでしょうか。広島から多くの皆様にご参加いただけますようお願いいたします。



山口県支部

新支部長のご紹介

山口県支部長 大濱 勝情公

2022年5月山口県支部幹事会を開催し、澄川孝子支部長からバトンを受け取ることとなりました。本来であれば総会を開催して会員の皆様にお知らせするところですが、コロナ禍を考慮して幹事会で諮らせていただきました。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

長年にわたり澄川支部長には大役を担っていただき、ありがとうございました。



澄川孝子前支部長



大濱勝情公新支部長

愛媛県支部

第3回くらしき作陽大学同窓会愛媛県支部 作陽音楽コンクール～ピアノ部門～開催

愛媛県支部長 鳥生 慎三

2021年8月28日(土)、同窓会愛媛県支部主催 第3回作陽音楽コンクールピアノ部門を開催しました。

くらしき作陽大学から、竹内京子先生、土居里江先生、重利和徳先生にお越しいただき、参加者73名の審査とアドバイスをさせていただきました。

また、先生方にステージ上で直接ワンポイントアドバイスをいただきました。こちらは第1回から恒例となっており、参加者やご家族や指導者に大変好評でした。

コロナ禍で、距離を取った上でのワンポイントアドバイスとなりましたが、真摯な出演者の眼差しに、先生方も感動したと言っていました。

次回、第4回は2022年8月27日(土)開催予定です。

(写真は第3回のコンクールの様子)



各支部からの活動報告

高知県支部

高知県支部総会2年ぶりの実施

高知県支部長 池上 恭一

2022年1月4日に高知県支部総会を2年ぶりに開催しました。2021年末には感染状況が収まりつつある状況で、ミニコンサートの再開や高知県支部発足50周年記念演奏会について、前向きな内容を話し合いました。残念ながら、その後の新型コロナウイルス感染の状況が悪化したこともあり、計画を一時中止しています。今後、状況を見ながら再開できますことを心待ちにしています。

鹿児島県支部

公立高等学校の校長就任

鹿児島県支部長 上白木 勤

鹿児島県支部事務局長の幸多優さんが2022年4月1日付で鹿児島県立川薩清修館高校の校長に就任されました。

作陽出身者で公立高等学校「初」の校長就任かと思えます。同窓会としても嬉しいご報告です。また鹿児島では、昨年度から永野俊也さんも、薩摩川内市立里小学校・里幼稚園の校長・園長として学校・園経営に当たっておられます。お二人をはじめ、鹿児島県の教育界においては、作陽の卒業生がその中心となって活躍しています。



幸多優氏



永野俊也氏

～作陽音楽大学9期生の方からのメッセージ～

【作陽音楽大学9期生】

那須 生男

9期生は2年前の2020年2月、新型コロナウイルス拡大兆候を前にして、40年ぶりに同窓会を岡山で開催いたしました。以来まだまだ感染は収まらないものの、日常生活も少しずつ戻りつつあります。鶴声会の2022年度総会が、秋に津山で開催される予定です。この機会に、かつて青春を共に過ごした津山に集合しませんか。



2020年9期生会

卒業生紹介

2023年4月、作陽高校は津山の地を離れ、くらしき作陽大学のある倉敷市玉島へ移転します！私たち2人も一緒に新天地へ向かい、さらに充実した音楽教育に取り組みたいと、高大連携のプログラムなどを準備して新入生を受け入れたいと考えています。作陽をこれからも大切にしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

貞廣 幸大さん

平成14年 音楽学部音楽学科 卒業

2003年から作陽高校の音楽デザインを担当し、音楽制作やレコーディング演習の授業を行っています。来年で教員生活20年。日々生徒たちと楽しんでいます！



山口 徹さん

平成17年 音楽学部音楽学科 卒業

2018年から作陽高校の吹奏楽部顧問、ソルフェージュや音楽理論などミュージックコースの演奏芸術や吹奏楽の授業を担当。小学校教諭を辞して作陽高校へ来ました！



卒業生の皆様 知っく情報

～お子様の進路のご参考に！現在の作陽を知る大学案内の活用～

現在の大学の情報を知りたいという方は、入試広報室に依頼いただければ大学案内などの資料を送付してもらえます。

くらしき作陽大学(旧作陽音楽大学)・作陽短期大学の卒業生のご子息には、入学金減免制度があります。

また作陽で取得できる免許、資格を知ること、卒業後の進路の参考になり、高校生になってからの進路選びではなく、それ以前から将来を考える機会にもなると思いますので、活用されてみてはいかがでしょうか。

現在の入学試験は、一般・推薦だけでなく、自己推薦のような総合型選抜など多岐にわたります。それぞれの特性を活かした入試制度を大学では導入していますので、自分にあった入試制度を検討する材料にもなります。



～作陽で取得した免許資格を活用されてはいかがでしょうか～

いまだコロナの影響を受け続けている昨今ですが、今年も岡山県教育委員会の方から、家庭科教諭、音楽教諭、小学校教諭が非常に不足しているとのことで、講師依頼がありました。

教育現場では、高等学校臨時教員、小学校時間講師、中学校臨時教員などの教員を望まれているようです。

今年5月11日「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」が成立したことに伴い、7月1日から教員免許更新制は解消されました。新・旧免許状をお持ちで、免許が失効または休眠されている方も、都道府県教育委員会で再授与申請を行うことで、有効期限のない免許状の授与を受けることが可能です。

この機会に、取得された免許資格を活かして、後進の指導に携わってみられてはいかがでしょうか？

鶴声会からのお知らせ

同窓会名簿等個人情報の取扱いについてのお願い

お持ちの同窓会名簿を転売、紛失しないようご注意ください。

近年、名簿などを悪用したセールスや詐欺等の被害が発生しているようです。

名簿を購入された会員皆様一人ひとりの、適切な個人情報の取り扱いが重要です。

今後の同窓会活動の運営が円滑に図られるよう、皆様のご協力をお願いします。



同窓会鶴声会ホームページのご案内

平成30年9月に同窓会ホームページを開設しました。これまで発刊した同窓会会報誌、同窓会鶴声会の後援申請、卒業生主催の演奏会、講演などをご案内させていただきます。

HPアドレス <http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/>

HP掲載の情報提供は

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

くらしき作陽大学 同窓会鶴声会事務局

TEL 086-523-0888 E-Mail katayama@ksu.ac.jp

こちらまでお願いいたします。

※総会開催の最新情報もこちらで更新していきます。



新幹事紹介



川西友紀子

塩津美月

このたび、鶴声会幹事に就任いたしました、2018年3月に食文化学部栄養学科卒業の川西友紀子(写真左)と2021年3月に食文化学部栄養学科卒業の塩津美月(写真右)です。私たちは昨年度よりくらしき作陽大学食文化学部の実習助手として勤務しております。

世の中が新型コロナウイルスに見舞われ約3年が経過しました。何事も気にせず、人と会話ができること、食事ができること、当たり前だった日々が懐かしく感じます。この3年の間に人とのつながりがとても大切であると感じた方は多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、鶴声会という場で卒業生の皆様とつながる機会がもてれば、より人とのつながりが増え、良い環境に発展できるの

ではないかと考えます。また、管理栄養士・栄養士等多職種の情報共有の場になることにより、それぞれが刺激され、今後のスキルアップにつながるのではないかと確信しております。

新型コロナウイルスの影響によりまだまだたくさんの制限がある中ですが、鶴声会を通じて皆様とのつながりを大切にしていきたいと思っております。微力ではございますが、少しでもお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



中野広大

このたび、鶴声会の幹事に就任いたしました、2014年3月に子ども教育学部を卒業した中野広大です。今年度よりくらしき作陽大学子ども教育学部の教員として勤務しております。私の母親も津山時代の作陽音楽大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻を1980年3月に卒業しており、親子で大変お世話になっております。

在学中「子ども教育学部附属児童文化部ぱれっと」に所属し、人形劇や絵本の読み聞かせ、手遊びなどの地域公演活動を行いました。ここでの経験が私の人生の分岐点となりました。

卒業後は、長野県公立小学校教諭、札幌市児童会館職員を経て、現在に至ります。ここまで真っ直ぐに歩みを進めてくることができたのも、くらしき作陽大学での人との出会いと学びのお陰と思っており、大変感謝しております。

微力ではありますが、くらしき作陽大学及び鶴声会の発展に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

お悔やみ

昭和53年3月

音楽学部音楽学科(Hr) 卒業

河原 完様

広島交響楽団ホルン奏者として活躍されていた河原様が、2022年3月22日にご逝去されました。



今村三明特任教授

1972年から2013年まで41年の長きにわたり、音楽学部において打楽器専攻生の指導に尽力されてきた今村先生が、2021年9月13日にご逝去されました。



菊川忠裕特任教授

2015年より栄養学科長として、管理栄養士の養成に尽力されてきた菊川先生が2022年6月18日にご逝去されました。



謹んで皆様のご冥福をお祈りいたします。



鶴声会役員紹介

会 長	副会長	常任幹事									
木村一也	片山嘉政	長瀬敏和	菅付章宏	赤松英彦	森博文	居川寛子	重利和徳	鬼本敏男	藤澤克彦	大塚舞奈	中野広大
幹 事										事務局長	事務局
元吉恵子	板野直子	中井章徳	岡村晃平	杉山里緒	窪田紀之	田井志帆子	高橋万由花	堀愛美	小山陽介	藤木理子	武田真理子
事務局		会 計		書 記		監 査		顧 問			
館一彰	川西友紀子	逸見奈保	平松朋子	岡諒美	塩津美月	徳永晶子	室家典子	菊井勝	中桐 實	大林史明	松井輝善
顧 問											
井端 豊実		安部 欽也									

各県別会員数

(令和4年6月現在)

- 北海道・東北…33
- 中部…153
- 中国…5,488
- 九州・沖縄…1,292
- 関東…183
- 近畿…825
- 四国…1,259
- 海外…3



編集staff

監 修：小山 陽介
 制 作：館一彰・逸見 奈保・
 藤木 理子・室家 典子・
 平松 朋子



編集後記

会報誌「鶴の声」もこのたび、第12号の発刊を迎える運びとなりました。毎回、発刊に際し、取材協力、そして情報などのご提供をいただきまして、大変感謝しております。鶴声会は卒業生を応援しています。今後も卒業生の活躍の様子など数多くご紹介していきたいと思っておりますので、何かございましたら鶴声会事務局までお寄せ下さい。今年度も鶴声会幹事に各学部の卒業生を迎え、音楽・食文化・子ども教育学部がますます連携し、より一層の情報発信や学部を超えた親睦のためのサポートができると思っております。今年度は、コロナ禍で中止していた総会を開催いたします。作陽の聖地津山で、多くの卒業生の皆さまとお会いできることを心より願っております。



くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888 Fax:086-523-0811

(くらしき作陽大学代表番号)

katayama@ksu.ac.jp

http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/

